

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ

承認 1982年 8月24日

例会日 火曜日 12:30

例会場 名古屋東急ホテル

事務局 TEL763-5110 FAX763-5121

会長 谷口 優

幹事 竹内 克豊

広報・会報委員長 池森 由幸

No. 19 奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会

第1436回 平成24年12月11日(火)
友愛の日

先週の例会

第1435回 平成24年12月4日(火)晴
講演 “親しき「友」との別れ”
会員 太田 和孝 君

◆君が代

◆それでこそロータリー

◆四つのテスト

◆ビジター 1名

◆出席報告

会員 39 (32)名 出席 28 名

出席率 87.50%

前々回 11/20 (修正出席率) 96.97%

竹内幹事報告

- 1) 本日例会後、年次総会を開催致しますので全会員そのままお残り下さい
- 2) 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方々はお残り下さい。
- 3) ロータリーの友12月号が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい

谷口会長挨拶

ロータリーにおいて変えて良いものと
変えてはならないものとは？

ポールハリスの有名な言葉に、「ロータリーが、その適正な運命を理解するとしたら、ロータリーは必ず進歩しなければなりません。ときには革命が起こる必要があります。」と言うのがあります。この言葉から、ロータリーは時代と共に変わらなければならないことを力説される方もおられますが、ロータリーにおいて「変えなければならないもの」と「変えてはならないもの」を分けておく必要があります。それは何でしょうか。それは、「奉仕の理念です」

これがロータリー活動を貫いているロータリーの神髄であり、哲学です。この哲学は「超我の奉仕(service, above self)」であり、『一番奉仕するものは、最も報いられる』『he profits most who serves best』という実践の理念に基づくものです。この二つのモットーは変えてはならない奉仕の理念なのです。

(1) この第二のモットーはアーサー フレデリック シェルドンの言葉です。

この理念には、『継続的な事業の発展を得るためには、自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営む』、この原理に基づき事業をおこなうべきとの考えからです。

良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であり、資本家が利益を独占するのではなく、従業員や取引に関係する人達と適正に再配分することが継続的に利益を得る方法だとの考えが根底にあります。この理念は1911年にロータリークラブ連合会で、ロータリーの奉仕理念として採択され、今日に至っています。

この奉仕の実践的意義としては、次のような点が重要だと指摘しています。

- ①販売する商品や提供する業務の品質が高いこと。
- ②価格設定は顧客がリーズナブルだと感じる価格を設定すること。
- ③経営者および従業員の接客態度が親切で、取り扱う商品につき十分な知識を有すること。
- ④欠品がなく十分な品揃えがあること。
- ⑤広告も顧客に対し適切な内容を表示していること。
- ⑥アフターサービスも行き届いていること。・・・

このようなことが守られている店には誰も行ってみたいと思うものです。リピーターが再三訪れることが、事業の発展に繋がるとしてあります。これは製造販売、サービスの提供のすべて通じることです。

上記した内容が、従業員、関連する業者、下請け会社、顧客、同業者のお陰であると言えます。つまり事業を取り巻くすべての人のお陰であると考えれば、得た利益は事業主が一人占めすることなく、関係者で適正に分けることによって事業を進めて行けば、必ず事業は発展して行くはずで、このようなことが同業者等に伝播して行けば、業界全体の職業倫理が向上するものです。自分自身の研鑽、および他者への伝播をこの言葉(モットー)は含んでいるのです。

(2) 超我の奉仕 (service, above self)
これはフランクリンコリンズが「無我の奉仕 (service, not self)」として1911年の演説で唱えたものを修正したものです。1916年頃から「超我の奉仕」が使わ

れるようになりました。「自分と共に他人を思いやり他人のために尽くす」という人道的奉仕活動を示すモットーとして使われています。

このようにロータリーの理念は職業奉仕から社会奉仕に変わってきたのです。

この二つは変えてはならないものです。

変えても良いものもあります。

(1) 奉仕活動の実践は社会のニーズに応じる必要があります。社会のニーズに従って変化する必要があります。ロータリーの原点は各クラブであり、各会員です。R Iでも地区でもありません。奉仕活動は各クラブが検討実践すべきであり、R Iから押し付けられるものではないのです。

(2) 組織の管理運営も長年放置すると制度疲労を起こし、組織は衰退して行きます。ロータリークラブの管理運営もクラブの変化等により修正して行く必要があります。

(ア) 各クラブには定款、細則がありますが、それはR I定款、R I細則、標準ロータリークラブ定款に違反しない限りクラブ独自に制定改正することができます。

具体的な奉仕活動については、クラブの細則で定めるべきものと考えられます。

たとえば、①クラブ会長の役割、②幹事の役割、③理事会の役割、④各委員会の役割

これらについて、各クラブは独自に検討すべきです。

(イ) クラブリーダーシッププラン (CLP)

委員会構成は、細則で定められます。2005年からR Iは、CLPとして推奨細則を提案しています。機構のスリム化を推奨しています。わがクラブの、それに則して2008年に細則を改正し機構のスリム化を行いました。

3分間スピーチ

“古代の鉄”

佐野 寛君



「古代の鉄と神々」と題する本を買った。著者は真弓常忠氏で京都の八坂神社の宮司で考古学に明るい人でした。

この中で面白かったのは鈴石の話であり、鈴石は褐鉄鉱の団塊です。

褐鉄鉱は水酸化鉄の集合体で、沼、湖、浅い海底等で空気中や水中の酸素によりまた細菌の作用により酸化中和し鉱泉の流路に沿って沈殿したものである。

球、楕円、管状等の形態があり、大きさは1センチの小さい物から数メートルの巨大なものまである。

水中に含まれる鉄分が沈殿して更に鉄細菌が自己繁殖して細胞分裂したものである。

こうして出来た団塊の内部が溶解して内核が分離して振ると音を発するものがあり、これを鳴石、すず石と称

した。太古はこれをスズと称して自然にできたスズであり沼沢、湿原に生える葦、茅の様な植物の根を好んで形成されるのは植物の根が水中に含まれる鉄分を吸収して成長する、植物の根に房状に密生した状態があり、これをスズなりという、これがスズの語源では無いでしょうか。

鉄の地金をつくるのにタタラ製鉄があるが、この技法で鉄を取り出すには1500度の高温が必要である。

この褐鉄鉱800度程で鉄が出来た記録があるようで、これから農具を作ったのではないかと著者は言っている。

今日持参したスズ石は瀬戸の陶芸家から頂いたもので壺状になっている壺石である。もう一つ団塊状になったものもいただいた。

褐鉄鉱は陶器の絵の具として現在も作品制作に使用している。

◆講演 “親しき「友」との別れ”

太田 和孝君



今年、中学の同級生が単身赴任先のタイで急逝しました。

日本であれば様々な手当によって助かったのではないかと思います。遠いタイの地で一人亡くなった事、残されたご家族の悲しみの深さを想い、哀しみにくれました。

それともう一つ、私が過去に忘れることの出来ない忌まわしき事件として記憶に残る「友」との別れをお話いたします。

その「友」とは、新城市で、新城青年会議所のメンバーとして活躍されていた、松井建拓 常務取締役の松井紀裕 (としひろ) 君です。

私は平成5年のオリエンテーションを経まして名古屋青年会議所に入会致しました。

翌年、日本青年会議所 建設部会 愛知建設クラブに入会を致しました。このクラブは各地域の建設業に従事しますメンバーが幅広く入会し、地域で活動すると共に、全国の建設クラブが手を携えて全国組織として、行政や異業種の企業、全国の建設業界に対して、積極的な啓蒙活動、様々な勉強会を開催する団体です。

私は、名古屋青年会議所での活動は、消極的なメンバーでしたが、愛知建設クラブにしましては、同業者との交流を通じて、より良い刺激を受けることが出来ると思ひ、様々な活動に参加いたしました。

北は北海道、南は沖縄まで、仲間と交流を持つことが出来、あつという間の10年だったと思ひます。

私が松井君と初めて出会ったのは2001年38歳の年、豊橋で開催された建設クラブの事業に参加した時でした。新城の地で、私と同じ建設業者として、地域に貢献する優良企業の後継者として、又、新城青年会議所でも大いに活躍されていると聞き、彼から受ける刺激は大変大きなものがありました。

愛知建設クラブの会長は、年度ごとに愛知県全体のメン

パーの中から人選され、組織を繋いでいきます。2002年は名古屋青年会議所のメンバーが会長を勤めましたので、2003年の会長は是非松井君に引き受けてもらうべく、多くのメンバーが就任の依頼に行きました。しかしながら彼は、新城青年会議所の活動を優先すべく、此方からの要請を固辞されました。

そこで建設クラブとしては異例ではありますが、引き続き名古屋青年会議所の中より私が会長として選出されました。私も2003年は40歳、卒業の年という事もあり、とても引き継ぐことが重荷でしたので一旦は固辞いたしました。選考引継ぎの時間があまりにも少なく、前任の会長は非常に親しいメンバーでしたので、前会長の全面的な協力を頂くことでお引き受けしました。

2003年4月20日、愛知建設クラブの代表として沖縄での会議より帰郷した名古屋空港からの車の中でした。前会長からの突然の電話で私は事件を知らされました。

「松井さんが殺された……………」
愕然としました。悪い冗談であって欲しいと思いましたが、しかしその後流れてくるニュースは、確実な松井君の死を知らしめるものでした。

最悪のニュースが流れたのは犯人逮捕を告げる4月22日でした。

犯人は松井君と長年、幼馴染として青年会議所活動も共に行動していたメンバーでした。

松井君から犯人の紹介を受けた事を思い出し、にわかに信じられませんでした。

犯人の供述によりますと、ギャンブルなどで暴力団関係者などから数百万円の借金があり、その借金返済や、青年会議所活動後の2次会で知り合ったフィリピン人女性との結婚するための資金が必要となり、金の無心を松井さんにもしたそうです。松井君は以前より犯人の日々の行動に心を痛み、友情を以って厳しく諭していたのですが、事件の日も最後の友情が仇となって帰ってきたのです。その後犯人は無期懲役刑で服役しています。

昨今もお金にまつわる恐ろしい事件が頻発しておりますが、私はこの事件に接しました時に、もし、どちらかが青年会議所のメンバーで無かったならば、2組の家族が地獄に陥る様な不幸な事件は起こらなかったと思えました。

お金によって人間は、理性を失い、一步間違えると長年の友情や恩義ですら忘れてしまい、時として、自分の人生を根底から破壊してしまう大変恐ろしいモノである事を嫌というほど味わいました。

自分自身これからも様々な状況に直面すると思いますが、常に自分が理性的に行動する為、自分の原点を絶えず見つめながら、仕事に、ロータリー活動に日々活動して行きたいと思えます。

あらためまして若輩ではありますが、ご指導の程宜しく御願いたします。



年次総会

2013～2014年度
理事役員

会 長	萩 原 喜代子
副 会 長	牧 野 登志子
会長エレクト	加 藤 重 雄
幹 事	渡 邊 源 市
S A A	三 好 親
会 計	鈴 木 理 之
直前会長	谷 口 優
直前幹事	竹 内 克 豊
クラブ奉仕	宮 尾 紘 司
親 睦	池 森 由 幸
会場運営(副SAA)	吉 田 玄
職業奉仕	笹 野 義 春
社会奉仕	鈴 木 聖 三
新 世 代	足 立 一 郎
国際奉仕	伊 藤 健 文
副 幹 事	小 林 英 毅

1. 次年度理事役員選任の件
2. 名古屋千種ロータリークラブ顕彰規程の件

会員の挙手により承認されました

ニコボックス

堀江 宏輝

ホームクラブご無沙汰しました

小林 英毅

本日は総会終了後、囲碁会があります。

3F 葵の間でお待ちします

竹内 克豊

先日初めてラジオ収録を体験しました。

12/2・9ともに日曜日、朝9:30～FM愛知

にて、この美声をお聞かせ致します。

宜しくお願いします。

渡邊 源市

毎年恒例のクリニック講演会があります。

12月15日(土) 第二日赤病院で健康食品に詳しい

先生を東京からお呼びします。

クリニックホームページで案内中です。

足立 一郎

萩原喜代子

池森 由幸

伊藤 健文

加藤 重雄

小山 雅弘

近藤 和幸

宮尾 紘司

三好 親

西川 豊長

大口 弘和

太田 和孝

大谷 恩

尾関 武弘

佐久間良治

佐野 寛

鈴木 理之

鈴木 聖三

竹内 眞三

舎人 経昭

吉田 玄

なにかと忙しい12月。風邪も流行っています。

ご自愛下さい!

66,000 円



お便り ~Thailand よい~

千種ロータリー 様

師走に入り、あわただしくなって参りました。いかがお過ごしでしょうか。

いつもキャンヘルプタイランドにご支援を賜り、ありがとうございます。

ご支援いただいている下記の奨学生の手紙の日本語訳が完了しましたので、送付させていただきます。

奨学生 No. MS-S-039 スティダー・スパター
奨学生はいずれも学業、課外活動、家庭の手伝いと頑張っている様子が見られます。どうぞお読み下さいませ。今後とも奨学生を見守って頂きたく、何卒よろしく願い申し上げます。

奨学金ドナーの方々、奨学金プログラムの皆様

私はスティダー・スパター、ノーンゲン(ニックネーム)です。今日は母の日です。

今年の母の日、私はとても幸せな気分です。母親にジャスミンの花を捧げ、手を合わせてあいさつし、母も私に、一生懸命勉学に励んでよい人間になり、将来はよい職業につけるように激励してくれました。

皆様はいかがお過ごしですか？母の日に際し、私はドナーの方々、奨学金プログラムの皆様が幸福と健康であることをお祈りいたします。

つい1週間前に試験が終わったばかりで、お手紙を書く時間がありませんでした。

そしてもう何日もしないうちに、学校では科学の日のイベント催されます。各学年ごとに、いろいろな催し物をします。例えば、問題に答えたり、プロジェクトの競争をしたり、私たち高2は物売りをしたりと、いろいろな楽しい催しがあります。イベントは毎年行われ、知織と楽しさを与えてくれます。

ムさん、奨学金を受け取りに行った日、写真撮影がありましたね。私は写真が欲しいです。

記念に残しておきたいのでいただけないでしょうか？手紙はこれでおわります。

それではまた

敬具

スティダー・スパター



ロータリーの友12月号より

RI 会長メッセージ

世界でよいことをするために

親愛なる朋友ロータリアンの皆さん、2012年は間もなく終わりを迎えようとしています。私たちが自ら定めた目標とその進捗状況を確認する時期です。

目標に向けて、着実な成果を挙げているでしょうか。

目標は、高く、しかしながら、現実的であるべきだと私は強く信じています。目標は達成できる範囲内ではなく、多少の努力を要するものであるべきです。

新たなチャレンジに挑めば、自分が予想もしなかった能力に気づくことがあります。

全地区で導入される未来の夢

2013年7月1日、私たちは、組織全体の新たなチャレンジともいえるべき、「未来の夢」(ロータリー財団の新しい補助金モデル)を全地区で導入します。この未来の夢では、私たちが持てる限りのリソースをもって、最大限に「世界でよいこと」をするという、シンプルかつ重要な目標に向かって私たちは進んできました。そして、この目標達成のために、諸経費を減らし、説明責任、透明性、地元での管理を改善し、最も大きな影響をもたらせる分野に私たちの奉仕を集中しようと努めています。

簡素化された補助金構成のもと、特に奨励されているのが、ロータリーの重点分野における奉仕です。

重点分野には「平和と紛争予防/紛争解決」、「疾病予防と治療」、「水と衛生」、「母子の健康」、「基本的教育と識字率向上」、「経済と地域社会の発展」の6つがあります。

これらは、世界各地のロータリアンがすでに長年にわたり活動を続けてきた分野です。そして、私たちにはこれらの分野での持続可能性のあるプロジェクトを実施してきた経験や実績があります。

持続可能なプロジェクトで「世界でよいこと」を

長期的に大きな影響をもたらすプロジェクトを強調する未来の夢では、「持続可能性」に主な焦点が絞られます。簡単に言えば、持続可能なプロジェクトとは、ロータリーの資金をすべて投入した後も末永く世界に恩恵をもたらすプロジェクトです。そうしたプロジェクトの最たる例には、ポリオ撲滅活動があります。ポリオが撲滅できれば、その後も恒久的に、ロータリーの活動の恩恵が続きます。また、ポリオ・プラスから学んだ教訓はほかの活動にも応用できるでしょう。

真に持続可能性のあるプロジェクトでは、計画と協力、長期的な視野、そして地域社会の人々を恩恵の受け手としてではなく、奉仕のパートナーとみなす取り組みが必要です。

未来の夢を受け入れることは、これまでよりもっと野心的な視野を受け入れるということです。すなわち、世界の重要問題に長期的そして真剣に、継続する方法で取り組もうとしているのです。これは私たちの奉仕にとって新しい考え方であり、このアプローチこそが、「世界でよいこと」をするためにロータリー財団の能力を一層高めてくれるものと信じています。

次回例会 平成24年12月18日(火) 3F ルネッサンス
会員家族懇親会